

## 政治倫理の確立・向上と区民からの信頼回復するために真相究明を求める決議 (討論)

2022/5/25 儀武さとし

私は、日本共産豊島区議団を代表して、ただいま議題となっております議員提出議案第 3 号、政治倫理の確立・向上と区民からの信頼回復に関する決議については、可決することに反対の立場から、議員提出議案第 4 号、政治倫理の確立・向上と区民からの信頼回復するために真相究明を求める決議については、可決することを求め、あわせて討論を行います。

この 2 つの議案は、政治資金規正法違反の真相究明と政治倫理の確立・向上と区民からの信頼回復するために、議会对応、あり方が問われる重大な問題であります。

この事件は、自民党の堀宏道元都議会議員が 2021 年 6 月に開いた政治資金パーティーに際し、区の部長職に対して、その地位を利用してパーティー券を配布するよう求め、自民党豊島区議団の松下創一郎前議員、竹下ひろみ前議員が政治資金規正法違反で 3 月 30 日に、それぞれ罰金 20 万円、公民権停止 1 年の略式命令を受けたものです。

松下創一郎、竹下ひろみ前両議員は、第 1 回定例会が終了した翌日、3 月 24 日に突然辞職しました。私も、お二人から、議長に辞職願を提出した電話をいただき、大変びっくりし「なぜ」と理由を聞きましたが、お二人とも理由を語りませんでした。翌日 25 日にマスコミ報道で「政治資金パーティー券購入依頼疑いで今年 1 月に書類送検されたことが明らかになりました。区議会は、3 月 29 日正副幹事長会を臨時に開催し、自民党の芳賀・池田正副幹事長から報告・説明がありました。各会派からの質問に対して「第 1 回定例会終了後に、松下創一郎、竹下ひろみ両区議から初めて聞いた。詳細な理由は聞いていない」などと答えるのみでした。

4 月は正副幹事長会を 5 回開催し、議員協議会でも、この問題を報告・説明を求めましたが、自民党からは「記憶にありません」などと言って、ほとんど進展がありません。辞職した当事者は「10 年前から慣例だった」元部長や課長を務めた複数の元区幹部は「職員への依頼は慣例としてずっと続いていた」とマスコミ報道もあります。それにも関わらず、その事実確認すら、できていません。正副幹事長会において、各会派からの真相究明を求める議論を経て、政治資金規正法違反に伴う議員辞職について、議長と副議長の連名で、公明党区議団、都民ファーストの会・民主、自民党区議団が共同提案の議員提出議案第 3 号、政治倫理の確立・向上と区民からの信頼回復に関する決議には、真相究明の文言が一言もありません。わ

が党は、この件に関しては、全会派一致で可決が望ましいので、正副幹事長会で議論を重ねて、すり合わせすることを求めましたが、議長が「共産党は独自に提案を」と拒否し、公明党区議団、都民ファーストの会・民主、自民党区議団は同調したのであります。それ以前にも、日本共産党区議団は、真相究明をするため、百条委員会の設置を求めましたが、公明党区議団、都民ファーストの会・民主が、百条委員会の設置に反対しました。

「政治倫理の確立・向上と区民からの信頼回復」の決議というなら、真相究明は欠かせません。真相を明らかにすることで、区民からの信頼を回復できるのではないのでしょうか。

わが党区議団は、区民からの信頼を回復するためには、自民党区議団が自浄能力を発揮し、真相を語る必要があると、繰り返し指摘してきましたが、自民党区議団は、それに応えて来ませんでした。自民党区議団が自浄能力を発揮しない中で、区議会として、真相究明を果たすことがより求められます。

日本共産党は、現状の政治資金パーティーは、企業・団体献金禁止の抜け穴になっていることから、政治資金パーティーの参加費も含めて、あらゆる企業・団体献金を禁止すべきと主張してきました。日本共産党区議団は、今回の事件の真相究明を強く求めるとともに、コロナ禍で区民のいのちと暮らしをまもるために、今後とも全力を尽くす決意です。

よって、議員提出議案第4号、政治倫理の確立・向上と区民からの信頼回復するために真相究明を求める決議について可決することを求め討論を終わります。

ご清聴ありがとうございました。